広報いばらき

最後の卒業生を送り出す
（第54回桜丘中学校卒業式）

来場者全員による最後の校歌斉唱
（梅香中学校閉校式）

CONTENTS

特集 桜丘中学校 梅香中学校 閉校

◎ 各課からのお知らせ
◎ タウンニュース
◎ 文芸、すこやかニュース
◎ 情報ひろば
◎ 里山に育む生きものたち

4

2014

ありがとう、さようなら

（桜丘中学校・梅香中学校閉校）

桜丘中学校　梅香中学校閉校
思い出を　ありがとう

平成２６年３月、茨城町の二つの中学校がその歴史に幕を下ろしました。
両中学校は３月１２日に最後の卒業生を送り出し、梅香中学校は３月１６日に、桜丘中学校は２３日にそれぞれ閉校式が挙行されました。
両中学校の在校生は、統合中学校「青葉中学校」の生徒として、４月に新たなスタートをきることとなります。
ここでは、両中学校の生徒代表と校長先生のコメントを掲載するとともに、沿革、校歌を掲載いたします。

桜　丘　中　学　校　沿　革

昭和 35 年９月	川根小学校区と小幡小学校区が統合し茨城町立桜丘中学校となり川根教場と上野合教場に分かれて開校
昭和 36 年　１月	茨城町奥谷 862 に校地を選定
７月	校歌・校章・制服制定
９月	新校舎へ移転
昭和 47 年	全国読書感想文優秀校を受賞
昭和 51 年	第１回茨城県選抜中学校野球大会優勝
昭和 59 年	小さな親切運動友の会が建設大臣より表彰
	県総合体育大会県大会野球の部第３位
昭和 61 年	桜丘館完成
平成３年	創立３０周年記念式典挙行
	小さな親切運動友の会が県教育長より褒状受賞
	プール竣工
平成 19 年	全国中学生ものづくり教育フェア「木工の技チャンピオン」文部科学大臣賞
平成 22 年	創立５０周年記念式典挙行
平成 23 年　３月	校舎が東日本大震災により被災、梅香中学校での学校生活開始
７月	桜丘中学校仮設校舎での学校生活開始
平成 26 年　１月	新校舎での学校生活開始
２月	幡谷教育振興財団賞理科教育優秀校に選出される
平成 26 年	茨城町立桜丘中学校閉校式典挙行
３月 23 日	
平成 26 年	茨城町立桜丘中学校閉校
３月 31 日	

閉校にあたって

25 年度前期生徒会長　樋岡　亨汰

桜丘中学校ができて 54 年。その長い伝統の中の最後の３年を「桜丘」で過ごしてきた。

東日本大震災で、川根小での入学式となったが、あのとき先輩方が見せてくれた桜丘中生としての姿は今でも覚えている。梅香中、仮設校舎、新校舎での生活。様々な人に支えられてきた。母校がなくなるのは残念でもあり寂しくもある。ただ桜丘の姿は、青葉中となっても忘れられず生き続けていってほしい。青葉中がよりよい学校になることを望んで。

いつかどこかで、出会える日まで

桜丘中学校長　佐藤　和彦

54 年の歴史を刻み、桜丘中は終止符を打つことになるが、それはジ・エンドではなく、新たなスタートラインでもある。

新生青葉中でも、子どもは「夢追い人」。そして、大人は子どもたちの夢が叶うよう導く「夢先案内人」であり続けたいと願っている。

また、私は中学校という青春の思い出の地に出会った子どもたちが、いつの日か母校に集い語り合うことを願う一人である。

桜丘中学校校歌

作詞　高野　正文
作曲　下野　米

一、紫の筑波嶺はるか　空広く光はあふる
　あゝわれら川根のほとり　新しき命育み　夢若き日の希望語らん

二、涸沼川貫くところ　川根野は豊かにひらく
　あゝわれら大地に汗し　勤労の業に励みて　栄ゆる郷土受け継ぎゆかん

三、朝夕に仰ぐ校舎は　六百の心を結ぶ
　あゝわれら桜丘に　学びきて共にたたえん　永久に伸びゆく我等が母校

梅　香　中　学　校　沿　革

昭和 35 年　９月	沼前中と上野合中が統合，茨城町立梅香中学校となり，沼前教場と上野合教場に分かれて開校
昭和 36 年	茨城町駒場 700 に校地を選定
２月 22 日	２月 22 日を創立記念日とする
昭和 37 年　３月	校章制定
９月	校歌制定
昭和 38 年	屋内体育館（旧体育館）完成
昭和 44 年	（旧）プール完成
昭和 55 年	創立２０周年記念式典挙行
昭和 59 年	柔剣道場完成
平成２年	小さな親切運動全国大会で優秀賞受賞
平成６年	屋内体育館（新体育館）完成
平成６年	体育館通路スカイウェイ完成
平成８年	関東中学剣道大会団体優勝
平成９年	（新）プール完成
平成 10 年	全国中学剣道大会団体準優勝
平成 16 年	全国中学校ロボットコンテスト優秀賞受賞
平成 18 年	新校舎完成
平成 22 年～ 24 年度	文科省教育課程特例校指定研究（キャリア教育）
平成 23 年	震災により桜丘中と合同生活
平成 25 年	茨城県教育広報 NIE コンクール学校賞受賞
平成 25 年	県総体剣道団体３位，関東・全国大会出場
平成 25 年	武道場を『梅香館』と命名する
平成 26 年	茨城町立梅香中学校閉校式典挙行
３月 16 日	
平成 26 年	茨城町立梅香中学校閉校
３月 31 日	

梅香中学校閉校にあたって

梅香中学校三年　永瀬　まい

五十四年間、たくさんの方々から愛されてきた梅香中学校が、長い歴史の幕を下ろすことになりました。梅香中学校で何千人もの方々が出逢い、学び、成長してきたことと思います。こんなに素晴らしい梅香中学校が閉校してしまうのは、とても残念ですが、最後の卒業生として卒業できたことを誇りに思います。たくさんの思い出をつくってくれた梅香中学校にとても感謝しています。青葉中学校が笑顔あふれる学校となることを、心よりお祈り申し上げます。

五十四年間の思い

梅香中学校長　廣戸　隆

閉校のための諸準備に追われている中で、梅香中設立の資料が目に止まった。そこには、「昭和三十四年に中学校の規模適正化と町の基幹となる有為な人材の育成を目指して、梅香中学校に統合するとあった。あれから五十四年間。八千人以上の卒業生を輩出し、そのおひとりおひとりが、有為な人材として、各方面でご活躍されていることは、閉校のための物心両面でのご支援で実感した。

母校に対する五十四年間の思いに直面し、改めて梅香中学校に有終の美を飾らせる責任を痛感した。「栄え行く　我れ等が　梅香中学校」

梅香中学校校歌

作詞　溝口　隆
作曲　田中　昭

一、紫の　筑波の嶺を　仰ぎ見る　駒場の丘に
　睦まじく　力のかぎり　高らかに　理想かざして
　励む　我れ等が　梅香中学校

二、永久に　涸沼の水は　清く澄む　心の鏡
　究め行く　学びの林　ひとすじに　真理の道を
　進む　我れ等が　梅香中学校

三、現世の　春さきがけて　咲く花の　ゆかしき香り
　たくましく　生きぬく力　黒がねの　からだきたえて
　伸びる　我れ等が　梅香中学校

四、友愛の　すがしき集い　日にあらた　かたみにつとめ
　いそしめば　希望の空に　咲き匂う　校風の花
　栄え行く　我れ等が　梅香中学校

安全・安心で活力あるまち いばらき

小林町長は、3月6日（木）の平成26年第1回町議会定例会開催にあたり、町政運営に対する基本方針について、所信の一端と新年度施策に対する概要を述べました。

本町にとりまして本年度は、昭和30年の町制施行以来60周年を迎える記念すべき節目の年であります。また、私自身にとりましても、町長として2期目の任期を締めくくる重要な年にも位置付けられます。

さらに平成26年度は、「茨城町第5次総合計画」後期基本計画に基づくまちづくりの2年目を迎えることから是非とも町民の皆さまとの協働によって「小さくてもきらりとひかる」魅力ある町の実現に向け、計画に掲げた事業を着実に推進し、誰もが安全で安心に暮らせる元気な地域社会を構築すべく全力で取り組んでまいります。

平成26年度の町政運営の基本施策

○安全・安心で活力あるまちづくり

行政に対する住民ニーズは年々多様化・高度化しているとともに、地方分権の進展に伴い、国・県からの権限移譲が今後さらに進むことも予想され、自己決定・自己責任の範囲が拡大する中で町が抱える様々な課題にも的確且つスピーディーに取り組んでいくことが重要であると考えております。そこで新年度にはこれら新しい政策にも的確に対応するため、総務企画部内に（仮称）新政策審議室を設置し、政策立案能力の強化を図りながら魅力あるまちづくりを目指してまいります。

・健全財政の維持

景気回復や企業誘致等による歳入面における税収増は想定されるものの、ここ数年再び地方交付税が減少方向に向かうなど歳入財源の先行きに不透明感がある一方、以前から心配された社会保障関連の経費が急速な増加傾向を示しつつあり、一般会計への影響が懸念されていることからも本町の財政状況は今後さらに厳しさを増すことが予想されます。そうしたことも十分念頭に置きつつ財政運営においては、新たな滞納繰越の発生防止と累積滞納者に対する滞納処分などを引き続き行って徴収率の向上を図り、自主財源の確保と税負担の公平公正化に努めるとともに、行財政改革などを通じて健全財政をしっかり維持しながら質の高い行政サービスが提供できるよう鋭意努力してまいります。

・定住促進

町の人口が減少に転じてきたことから、少子化対策に係る諸施策の具現化を図るため、基本理念及び基本的事項を定めた「茨城町定住促進条例」を制定するとともに、所用の予算も確保しながら定住化促進を図ってまいります。

具体的には、少子化対策・子育て支援、健康づくりの推進、雇用の促進、住環境の整備、教育の充実などを定住化を促すための重要施策として位置づけ、互いに連携を図りながら子育てしやすく、住みやすい環境を創出し町の魅力度を上げて活力あるまちづくりを行ってまいります。

・新たな情報発信

広報とホームページの充実に加え、より手軽に町の行政情報を取得していただくため、ソーシャルネットワークサービス（SNS）の一つであるツイッターによる新たな情報発信を始めてまいります。

・社会保障と税番号制度

平成29年7月に国の機関と地方公共団体との連携が開始されることから、それに間に合うよう平成26年度から取り組んでまいります。

○健やかな心身と思いやりを育む安心のまちづくり

町民の健康づくりと少子化対策事業を重要施策として位置づけ、必要な対策に取り組んでまいります。

・健康づくりへの取り組み

「健康診査の受診率の向上」「シルバーリハビリ体操の推進」「健康レシピの普及」を骨格とする「いきいき健康づくり推進事業」が2年度目に入りました。引き続き地区訪問事業や生活習慣病予防教室、介護予防教室などを実施してまいります。

健康診査等事業につきましては、本年度新たに胃がん検診及び骨粗しょう症検診に対し無料クーポン券を配付して、受診率の向上を図り疾患の早期発見、早期治療につなげてまいります。

・子育て支援

深刻化する少子化傾向に歯止めをかけるため、各種施策を通じて少子化に対する気運が醸成できるよう昨年度より始めた不妊治療に対する「不妊治療費助成事業」を継続するとともに、未熟児の医療費に対して給付を行う「未熟児養育事業」などを実施してまいります。

・福祉施策

高齢者福祉タクシー利用助成事業の見直しを行い、利用対象者の拡大を図るとともに、単位老人クラブに対する補助制度を見直し、地域交流の活性化を図ることや介護予防の活動などにも支援をしてまいります。

・切れ目のない支援で少子化対策

少子化対策の一環として、結婚、妊娠、出産、育児の「切れ目ない支援」を行うことを目指し、施策の根幹をなす婚活応援推進事業を積極的に推進するため、国の「地域少子化対策交付金」を活用して、より充実した支援活動を行うとともに情報の提供にも努めてまいります。

○充実した教育と安心コミュニティのまちづくり

・文化的施設の早期整備

文化活動の振興につきましては、東日本大震災により被災し、使用不能となっている中央公民館に代わる施設として、現在準備を進めている文化的施設の早期整備に努めてまいります。本施設は公民館機能を備え、音楽会や講演会、演劇活動や研修会などの各種イベントにも幅広く活用でき、かつ大人数が収容できる大ホールを有し、防災機能なども併せ持った多機能型の施設です。本町の文化レベルの向上に欠かすことのできない文化活動の拠点としての重要な意味を持つことから町民の皆さまが親しみやすく、気軽に集える利便性の高い施設となるよう運営面の検討も早急に進めてまいります。

・学校教育関係

本年度も個々の能力に応じたきめ細かな授業を行う「ティーム・ティーチング事業」を実施して児童生徒の学力向上を図り、また発達障害及び肢体不自由などの児童生徒に対する介助や学習支援を行う「特別支援教育支援員」の配置事業を行ってまいります。

施設整備につきましては、平成24年度から進めてまいりました桜丘中学校と梅香中学校との統合中学校整備が完了し、本年4月に茨城町立青葉中学校として開校する運びとなりました。

さらに平成27年度の小学校統合に向け梅香中学校を転用するための増築及び大規模改造工事を推進するとともに、続く石崎小学校・広浦小学校・長岡第二小学校の平成28年度統合を目指し計画及び諸手続きを進めてまいります。

図書館におきましては、本年度より各小学校に定期的に図書館司書を派遣し、児童が本への興味・関心を高めるための「ブックトーク」や「読み聞かせ」などを実施しながら、親しみやすく質の高い読書活動の推進に努めてまいります。

○豊かさを実感できる活力あるまちづくり

・農業の振興と産業の活性化

農業の振興と産業の活性化については、21世紀チャレンジ農業会議の提言に基づく農業活性化対策を進めます。昨年「こだわり農業連絡協議会」と生活協同組合「パルシステム茨城」との連携によって、有機肥料を使ったこだわり米「きらり」を発売することができましたが、引き続き農業者の所得向上に向け、ブランド化や販路拡大などの対策を推進してまいります。

また、国の施策である「人・農地プラン」を活用し、新規就農者の確保や担い手の育成を図り後継者対策を行うとともに、農業機械の共同利用化や農業生産基盤の整備などを通じて生産環境の改善を図り、年々厳しさを増している農業の再生を目指し支援をしてまいります。

さらに将来に希望が持てる魅力的な農業を目指す取り組みを加速化させるための推進組織として、JA水戸との連携のもとに農業公社を設立し、農地バンク事業や農作業支援事業、人材バンク事業など、担い手支援策を中心に事業展開を図ってまいります。

その他、2月8日・9日の大雪で被災したパイプハウスなどに対し国・県等と連携を図りながら迅速且つ適切な支援を行ってまいります。

・企業誘致の推進

昨年、茨城中央工業団地に新たに1社が進出し、立地企業は合わせて15社となり、うち14社が操業しております。

本年も引き続き、「産業復興企業誘致立地補助金」や東日本大震災復興「茨城産業再生特区制度」を活用し関係機関と連携を図りながら、企業誘致を推進してまいります。

・安全・安心な消費生活の実現

消費者行政においては、国・県・関係機関等と協力して相談体制の一層の充実を図り、町民の安全・安心な消費生活を実現するため、今後も継続的に取り組んでまいります。

○安全で快適な生活環境整備を目指すまちづくり

・「安全で安心して暮らせるまちづくり」

住民と町・企業・消防・警察・学校等地域全体で協力し、交通安全や防犯対策、防災に関する取り組みを実施してまいります。

県道内原塩崎線をはじめ各要望箇所への防犯灯設置を実施するほか、近年頻発する気象災害や大震災に備え、引き続き避難所となる小中学校への防災倉庫設置や災害時用備蓄品の整備を進め防災体制の強化を図ってまいります。

・涸沼のラムサール条約湿地登録

昨年から県が中心となって進めている涸沼のラムサール条約湿地登録についてですが、関係機関と連携を図りながら登録実現を目指し積極的な推進を図ってまいります。

・インフラ整備

インフラ整備につきましては、引き続き道路や上下水道などの整備を推進いたします。

・災害に強い安全・安心なまちづくり

災害に強い安全・安心なまちづくりのため、引きつづき消火栓の設置や消防団車両整備計画に基づく車両の更新を進めるとともに、高機能消防共同指令センターの共同運用に向けた事業の推進を図ってまいります。

救急業務については、出場件数の増加や高齢化社会に対応すべく住民や事業所等を対象とした応急手当講習会を開催して、心肺蘇生法の普及推進に努め救命率の向上を図ってまいります。

《平成26年度予算編成の基本的考え方と主要施策》

次に平成26年度予算編成にあたっての基本的考え方と主要施策について申し上げます。

先ほど町政運営の基本方針の中でも申し上げましたように平成26年度は、「茨城町第5次総合計画」後期基本計画に基づく2年目の予算編成であります。「安全・安心で活力あるまちいばらき」の実現に向け、持続可能な健全財政の維持にも留意しつつ各施策が着実に推進できるよう詳細な検討を加えながら予算編成に努めたところであります。

平成26年度予算の総額

・当初予算額は約213億1千万円

一般会計ほか特別会計並びに企業会計合わせた全8会計の当初予算総額は、213億1、159万5千円で、前年度当初比4億3、505万4千円、率にして2．1％の増となっております。

うち一般会計につきましては、111億1千万円で、対前年度比2億7、700万円、率にして2．4％の減であります。

次に特別会計においては、5会計合わせて88億8、194万1千円となり、前年度比6．1％増、企業会計は、2つの会計合わせて13億1、965万4千円となり8．0％の増となっております。

平成26年度新規事業など主要施策の概要

・総務費

総務課関連については、引き続き職員の資質向上を図るため、企画力開発研修、接遇講師養成研修並びに市町村アカデミー研修など各職務段階に応じた研修経費を計上いたしました。

また、若い職員が主体となり茨城町の様々な行政課題を調査研究し、自らの企画立案能力の向上に努めつつ斬新な解決策を創造する新政策研究会第4期を設置いたします。

さて茨城町は、昭和30年2月11日の町制施行から今日まで、多くの皆さまのご尽力により人と自然の調和がとれた田園都市として発展を遂げてまいりましたが、平成27年2月11日に60周年を迎えます。このため、町民の皆さまとともにこれをお祝いする記念式典を開催いたしたく所用の経費を計上させていただきました。

その他昨年度新設した集落活性化の自主的な活動に対し支援を行う「ふるさと元気づくり推進事業」の予算も計上いたしました。

町民課においては、社会保障・税番号制度導入に伴い、個人番号（マイナンバー）が設定されることから、その準備経費及び住民基本台帳ネットワークシステムの改修予算を計上致しました。

・民生費及び衛生費

みどり環境課においては、涸沼のラムサール条約湿地登録を推進するため関係経費を計上いたしました。また大規模災害に備えるための防災倉庫設置経費及び災害時用備蓄品の購入経費や県道内原塩崎線への防犯灯設置経費等を計上しております。

こども課では、消費税率の引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和する臨時的措置として、子育て世帯臨時特例給付金事業費を計上したほか、少子化対策の一環として新事業を立ち上げ出産届時に、1年以上茨城町住民基本台帳に記録されている保護者を対象に、出産祝金を支給する出産祝金支給事業経費を計上しております。

また、民間保育所において、保育士の人材確保を図るため、保育士等の処遇改善を実施した保育所や、障がい児を受入れている保育所に対する助成を行うための民間保育所保育助成事業を拡充いたしました。

健康増進課においては、図書館の照明器具LED化更新工事費を計上し、読書環境の改善と運営経費の節減を図ってまいります。

社会福祉課では、消費税の引き上げに際し、低所得者の負担軽減を図るため、町民税の非課税者1人につき1万円を、さらに老齢基礎年金等の受給者1人に対しては5千円の加算をする、臨時福祉給付金が支給されることから、関連予算を計上いたしました。

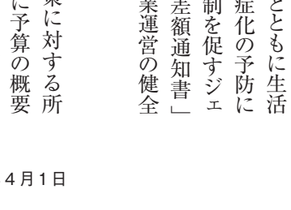
保険課では、医療福祉費支給制度、児童マル福の対象年齢を中学3年生まで拡大し、子育て支援の充実に努めてまいります。

・農林水産業費及び商工費

農業政策課において、農業公社設立準備経費及び「いばらきの畑地再生事業」経費等を新たに計上し、担い手への農地の集積と耕作放棄地の解消、作業受委託などの支援を行ってまいります。

また、水田農業振興の設計図となる「茨城町水田フル活用ビジョン」を作成し、産地交付金による麦・大豆を含む産地づくりを支援してまいります。

商工費につきましては、涸沼自然公園において、昨年は開園以来最多の入園者数を達成することができましたが、更なる増加を目指し、引き続き公園の整備を進めるとともに「あじさいまつり」や「いばらきまつり」のイベント経費等を計上しており、今後も本町観光の魅力発信に努めてまいります。



・教育費

学校教育課では、統合小校舎整備事業経費を計上したほか、新規事業として通学時及び災害時の安全確保対策として小学生全員のヘルメット購入経費を計上したほか、中学2年生の北海道自然教室体験事業経費及び青葉中学校スクールバス運行経費などを計上しております。

次に生涯学習課では、東日本大震災により被災した中央公民館の解体工事費を計上したほか、豊かな人間性を育むための、「人づくり文化講演会」開催経費及び町民祭開催のための予算を計上いたしました。

学校給食共同調理場においては、老朽化したボイラーを更新する予算を計上しております。

・消防費

消防費については、消防ポンプ自動車整備事業費や新設消火栓設置工事費及び消防救急無線共同指令センター整備経費を計上し、消防力の充実強化を図るとともに、災害に強いまちづくりに努めてまいります。

・土木費

土木費においては、文化的施設について、基本設計に続く実施設計業務を進め、本体工事の26年度内着工を目指してまいります。

また、都市計画マスタープランの改訂に向けての調査事業費を新たに計上したほか、道路の新設改良及び補修や橋梁の老朽化対策に係る工事費などを計上し、引き続き安全で利便性の高い快適な住環境の整備に努めてまいります。

・特別会計

特別会計では公共下水道事業会計において、既成市街地の中で未着手となっていた前田長岡地区を事業計画区域に編入するための計画書作成費を計上したほか、昨年度に引き続き小鶴及び谷田部地区の管渠布設工事費などを計上いたしました。

公営企業会計の水道事業会計においては、未給水地域解消と安定給水のための広域化促進事業や老朽化した配水管布設替え工事などの諸経費を計上いたしました。

国民健康保険特別会計においては、「特定健診の受診率向上」及び、「脳ドック助成」を拡充するとともに生活習慣病等の早期発見と重症化の予防に努め、さらに医療費の抑制を促すジェネリック医薬品の「利用差額通知書」を送付するなど、国保事業運営の健全化に努めてまいります。

以上、平成26年度施策に対する所信の一端と主要事業並びに予算の概要について申し上げましたが、当面する各行政課題については、町民との協働のまちづくりを旨としながら、効率的で効果的な町政運営に全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに町民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

子育て支援センター 5月

～遊びにおいでよ～

町子育て支援センターでは、子育て親子に寄り添いながら、親子のふれあいと子どもとの絆づくりを大切にした活動を行っています。

★遊戯室『まんまるーむ』開放★：日曜日、祝日を除き午前９時から午後５時まで

― 活 動 予 定 ―

★ 子育て相談・定期相談日 ★
＊町保健センター等の関係機関と連携しています。
・日　時：12日（月）、26日（月）
　　午前９時30分～正午
【受付場所：子育て支援センター　事務室】

★ 読み聞かせ ★－参加自由－
＊子育てボランティアによる読み聞かせを予定しています。
・日　時：7日（水）、21日（水）
　　午前10時45分～11時
【場　所：遊戯室「まんまるーむ」】

★ 砂場開放 ★　－参加自由－
＊戸外の気持ちよさを感じながら砂場で遊びましょう。
・日　時：28日（水）
　　午前10時30分～11時30分
【場　所：ゆうゆう館　中庭　砂場】

★『ミニ・セミナー』 ★　－参加自由－
＊親子でふれあって遊んだり歌をうたったり、楽しい時間を過ごしましょう。
・実施時間：午前11時から、及び随時実施
【場　所：遊戯室「まんまるーむ」】

≪子育てセミナー≫ ―要予約―

町内の未就学児とその保護者対象　＊　実施時間：午前10時30分～11時30分　＊

『みんなでピョン』 定員１０組
～親子で体を使った遊びを楽しみましょう～
日にち：１日（木）
場　所：保健センター　健診室
内　容：季節の歌、ふれあい遊び、
　　手あそび、読み聞かせ　等
持ち物：タオル、着替え、水分補給の為の飲み物
＊予約開始日４月１０日（木）＊

『わんぱくファーム』 定員６組
～とうもろこしの苗植えから収穫までを親子で体験しましょう～
日にち：20日（火）【雨天時：23日（金）】
場　所：ゆうゆう館　中庭　畑
内　容：とうもろこしの苗植え
持ち物：タオル、帽子、着替え、水分補給のための飲み物
＊汚れてもよい服装で参加してください。
＜今後の予定＞
・「収　穫」：8/5（火）
　　＊予約開始日４月２８日（月）＊

『わんぱくファーム』親子でとうもろこしの苗を育てよう！！

苗植えから収獲までの流れを体験していただきます。とうもろこしの生長とお子さんの成長を見守りながら、作物が育つおもしろさを親子で体験し、お子さんの食への興味・関心を育てましょう。

－　詳細はお問合せください。－

【問合せ先】　保健福祉部こども課　子育て支援センター　☎０２９－２９１－０９８０（直通）
『　茨城町総合福祉センター　「ゆうゆう館」内　』

茨城県トラック協会水戸支部と「災害時の緊急救援輸送に関する協定」締結

茨城町は、東日本大震災の教訓をもとに、災害時に救援物資の輸送を円滑に進めるため、茨城県トラック協会水戸支部（支部長：佐藤安彦氏）と「災害時の緊急輸送に関する協定」を締結しました。

協定締結式にあたり、小林町長は「更なる震災の発生が懸念されている現状、震災対策に万全を期したい。」と挨拶。これに対し佐藤支部長は「我々は日常的に生活物資を輸送している専門家集団。緊急時に我々の力をいかしてもらいたい。」と応えました。

協定書では、災害が発生した際、物資の救援輸送を県トラック協会水戸支部に要請することができることとしております。これにより、人手が不足しがちな災害時、避難所などへの物資輸送が迅速かつ的確に実施することができるようになりました。

茨城県トラック協会水戸支部は約１４０社の運送会社等が加盟しており、当町内、または近隣に拠点を置く会員も多いとのことです。

震災時、緊急輸送車両から物資を下ろす職員

合併処理浄化槽設置補助金の希望者を募集いたします！

町では、し尿と生活雑排水を一緒に処理できる合併処理浄化槽を設置する方に対して予算の範囲内で設置費用の一部を補助しています。

◎補助内容

補助人槽	補助限度額（１基あたり）	補助対象要件
５人槽	645,000 円	延べ床面積　140 ㎡（約 42.35 坪）以下のもの
７人槽	772,000 円	延べ床面積　140 ㎡（約 42.35 坪）を超えるもの
10 人槽	959,000 円	台所及び浴室が２ヵ所以上ある場合（二世帯住宅等）

※補助を受ける方のうち、既設の単独処理浄化槽を撤去する場合、撤去費用の一部（限度額 90,000 円／基）を補助します。

※応募者多数の場合は、抽選となりますので、あらかじめご了承願います。

◎受付期間
　平成26年４月１日（火）～５月９日（金）　※閉庁日は除く
　午前８時30分～午後５時15分

◎申し込みできる方
　公共下水道区域及び農業集落排水事業実施区域を除く区域において、平成27年２月末までに専用住宅（小規模店舗等を併設の場合は住宅部分の床面積が総面積の２分の１以上であること。）へ高度処理型合併処理浄化槽（Ｎ型）の設置補助事業が完了できる方。ただし次の場合は補助対象となりません。

1. 販売の目的で、合併処理浄化槽付き住宅等を建築する場合
2. 住宅等を借りている方で、賃貸人の承諾が得られない場合
3. 町税等を滞納している場合
4. 個人住宅を新築または、改築する場合

◎申込み方法
　印鑑をご持参のうえ、下水道課窓口（９番）へ直接お申し込みください。その際、浄化槽を設置する住宅の延べ床面積をうかがいますので、内容をご承知おきの上お越しくださいますようお願いします。

【問合せ先】
下水道課　公共下水道グループ
☎０２９（２４０）７１２７

2/5(水)～7日(金) 元気料理コンテスト優秀作品　県庁食堂デビュー

２月５日から７日にかけて、茨城県庁の食堂「カフェテリアひばり」において、昨年 11 月に茨城町で行われた「第４回元気料理コンテスト」で優秀な成績を収めた商品の一部が販売されました。

販売されたのは「さつま芋のポタージュ」、「きのことさつま芋のグラタン」、「米を使った大根もち」、「やまいものいももち」の４品。いずれの作品も用意された各 300 食がほぼ売り切れとなるなど好評で、「サービスエリアなどで販売してみてはどうか」、「手軽に作れそうで、自分流にアレンジできそう」などといったコメントをいただきました。

2/10(月) ＪＡ水戸茨城町いちご生産部会が茨城町産のいちごをＰＲ！

小林町長と JA 水戸の八木岡組合長、JA 水戸茨城町いちご生産部会の江橋部会長ら関係者 12 人が県庁を訪れ、橋本県知事を表敬訪問し、旬を迎えた茨城町産のいちごを PR しました。

茨城町は県内有数のいちごの産地で、同部会のいちごは平成３年度に茨城県青果物銘柄推進産地に指定されています。今回 PR したいちごは主力品種の「とちおとめ」と茨城県オリジナル品種の「いばらキッス」。食味と鮮度持続を目的に甘味料であるステビアを資材に利用し、部会員全員がエコファーマーの認定を受けているのが特徴で、安全・安心で高品質ないちごを消費者に届けるよう取り組んでいます。

小林町長は、「今シーズンのいちごは寒さの影響で、出荷が例年より遅れているものの、品質が良くとても甘いいちごができました」と PR しました。

ステビア栽培のいちごは、果皮を固くする効果があり、収穫後の日持ちがよいのが特徴。同部会では９年前から栽培に取り組んでいます。

2/11(火) きらり子どもあんどん2014

茨城町民の日（２月 11 日）に、茨城町商工会青年部が主催する「きらり子どもあんどん 2014」がゆうゆう館前駐車場において開催されました。

この事業は「子どもたちの想いを『光』で演出」をテーマに、行灯を彩る子どもたちの夢を、祖父母世代・父母世代が行灯作成や事業運営などでサポートする三世代交流事業です。

約 800 基の行灯には、子どもたちが描いた将来の夢などがロウソクの光で浮かび上がり、来場者を楽しませました。

2/20(木) 中居滋さん、米作りで表彰される

茨城県穀物改良協会主催の「平成 25 年度茨城県稲作共進会・そば共進会表彰式」において、品質向上や生産コストの低減、安全安心への配慮をしつつ、生産性に優れているとして、中居滋さん（下石崎）が稲作部門において優秀賞及び特別賞（茨城県知事賞）を受賞されました。

10 年前に脱サラして専業農家となった中居さんは、稲作のほか、麦・大豆といった戦略作物の栽培に取り組む地域の集落営農の一員としても活躍されております。

中居さんは、「このような賞を頂き、励みになる。」と受賞の喜びを語ってくれました。

2/21(金) 理科教育優秀校に桜丘中学校

茨城県総合福祉会館において、幡谷教育振興財団賞贈呈式が行われ、理科教育優秀校に選ばれた桜丘中学校に、理科教育助成金として 100 万円が贈呈されました。

桜丘中学校は理科の授業を中心に、全校生徒による金環日食の観察会、科学研究部の地域に密着した研究活動など理科教育振興にあたっています。また、教科書にはない教材などを工夫して取り入れたり、課題解決の実験計画をたて試行錯誤しながら実験を行い、結果を導き出し考察したりする生徒の意欲関心を高める授業づくりに努めています。桜丘中学校では今後、助成金をもとに、さらに理科教育の振興に励みたいと抱負を語っていました。

この賞は、次代を担う児童、生徒の科学への関心を高め、意識の向上と豊かな創造力を啓発し、優れた科学者育成を図り、学術・文化の発展に寄与することを目的に、公益財団法人幡谷教育振興財団が創設したものです。

2/24(月) シルバーリハビリ体操３級指導士養成講座修了式

１月 28 日から行われていた、シルバーリハビリ体操３級指導士養成講座の修了式が、ゆうゆう館で行われました。

３級指導士を目指した８名の受講生は、体の仕組みや効果的な体の動かし方、介護予防推進に関することなどを学習し、全員で修了式を迎えることができました。修了式を終えた受講生の一人は、「今後、地域のために自分ができる活動をやっていきたい。」と抱負を語ってくれました。

2/22(土)～23日(日) 第18回文化協会祭 フレンドほっとフェア

２月 22、23 日にかけて、フレンドほっとフェアが開催され、音楽や芸術など、町文化協会に加盟している各種団体が日ごろの成果を披露しました。

日曜日には、中央公民館大ホールを舞台に、社交ダンスやバンド演奏などの発表が華やかに行われました。

文芸

《短歌》

○趣味をもち老いの日日ゆったりと
時に繙く温き縁
田口　正子（南川又）

●わが庭に雀の群が集い来て撒いたる餌を音立て突く
萩谷彰一郎（長　岡）

●ふと見れば番の雉子が子を連れて藪の庵に餌を啄む
皆藤　利通（下土師）

幾度の試練を乗り越えソチの空
母に捧げる鎮魂の歌
浦井　正子（宮ヶ崎第四）

雛壇の前でバンザイして眠る孫
桃の香りに包まれてるね
田口すい子（南川又）

通学路広まる工事の生垣はそれとは知らず山茶花咲き初む
岡山　一二（上石崎）

こんなにも寒い日吾子の誕生日
立春すぎて雪しんしんと
中島三千代（桜の郷）

如月の風寒けれど日当たりに梅咲き初めり春はすぐそこ
鶴町あい子（常　井）

雪・雨に配達される新聞はひと手間かけてビニール袋に
河野　久子（昭　和）

カーテンを開ければ一面銀世界
雪国気分を暫し味わう
海老沢ミユキ（前　谷）

（評）田口正子さん―一首に豊かさ、あたたかさが流れている。老いの日日、ゆったりと好きなことをしたい。時には日差しの縁側で本を開いて読んだり…誰もの願いが表現されている。「繙く」は、書物を開いて読むこと。萩谷さん―この頃は雀の群などあまり見られないが、餌をまいてやったので寄って来たと思われる。「突く」は、「つつく」「つつつく」などと読む。「皆藤さん―雉子の親子が餌を食べているようすが歌材。藪の中の場所を選んで雉子は庵としているのだろうか。

《俳句》

○野火走る地球の生毛焼くごとく
中島三千代（桜の郷）

●枝垂れて雪はらはらと鳥の影
郡司　勝夫（網　掛）

●山鳩の啼く声遠く春の雨
道川　たい（南川又）

銀の穂を風が色そめ猫柳
鶴町あい子（常　井）

聞きなれぬ声のまじれる新入児
岡山　一二（上石崎）

菜の花の香りを乗せて列車行く
田口すい子（南川又）

客一人乗せバスが行く雪解道
清水　操（馬　渡）

冴ゆる夜の枯木に注ぐ月明かり
萩谷彰一郎（長　岡）

春潮や出船入船カモ騒ぐ
浦井　正子（宮ヶ崎第四）

大雪に枝垂れる庭木支え棒
田口　正子（南川又）

（評）中島さん―早春に野山の枯草を焼く火を野火という。その野火が走る様子を地球の生毛（うぶげ）を焼くようだと言ったところが、俳句的な物の見方だろう。完成度の高い作品。郡司さん―木の枝の垂れている様子が、雪と小鳥の動的な景と一緒になって美しい。道川さん、鶴町さん―どちらも自然の現象を素直に受けとめてまとめている。田口さん―菜の花の香りを乗せて走る列車、何とも言えぬ季節の美しさを感受できる。浦井さん―大景一望。

すこやかニュース

健康増進課
（保健センター）
☎240-7134

ウォーキングの効果
～ダイエットだけじゃありません～

【老化を緩やかにし、生活習慣病を防ぐ】

年齢とともに身体の各機能は衰えていき、残念ながらその衰えを完全に防ぐ事はできません。しかし、ウォーキングにより身体機能を維持することで、老化曲線を緩やかにし、加齢とともに起こりがちな骨折なども防げます。また、筋力を保つことで基礎代謝も維持でき、動脈硬化などの生活習慣病を予防できます。

【しなやかな体型になる】

ウォーキングはマラソン同様、有酸素運動なので基本的に筋肉はつきません。しかし、余分な脂肪を燃焼させるので、美しいしなやかな体型になります。

【ストレス」の解消】

仕事や育児、親戚や近所付き合いなど、ストレスはだれにでもあるものなので、うまく解消する方法を体得しましょう。お酒を飲んだりおいしい物を食べたり喫煙したりという行動は、残念ながら生活習慣病の危険性を高めてしまいますが、ウォーキングなら周りの景色を見たり、春のにおいをかいだりと、運動としての効能だけでなく、自然の恵みが脳に直接働きかけストレスが解消されます。

【便秘、冷えやむくみの解消】

特に女性に多い便秘。便秘は肥満の原因に限らず、大腸がんの危険性もはらんでいます。ウォーキングにより腸の動きが活発になることで便秘が解消されたり、血行がよくなって冷えやむくみの解消にもつながります。

さあ、皆さんも春の訪れとともにレッツウォーキング！きっと心も体もリフレッシュできることでしょう。

健康増進課（保健センター）４月の予定

日	曜日	事業名	受付時間
8	火	1歳6か月健康診査	13：00～13：30
9	水	健康相談	9：00～11：30
11	金	乳児健診	13：00～13：30
18	金	2歳児歯科検診	13：00～13：30
22	火	3歳児健診	13：00～13：30
25	金	ごっくん教室	9：45～10：00

私たちと一緒に活動しませんか？

ひぬま高校生会では、
新年度からの新入会員を募集しています。

1．ひぬま高校生会とは
茨城町を中心に活動する高校生のボランティア団体です。
会員は町内在住または町内の高等学校に通学する高校１年生～３年生（18 歳以下）までを対象としています。

2．主な活動内容
※毎週土曜日に午後から定例会を開き集まっています。
＊町主催キャンプ、町青年団主催キャンプへの参加（子どもたちのリーダーとなり指導）
＊子ども会派遣活動
＊赤い羽根募金活動
＊大洗こどもの城でのイベント補助
＊他市町村の高校生会との交流会
＊ボランティア研修会等への参加
＊その他、町内イベント補助（子どもフェスティバル、町民祭、成人式 etc…）
☆活動に興味がある方は、まず定例会へ見学に来て下さい。見学に来る際は事前に下記までご連絡下さい。

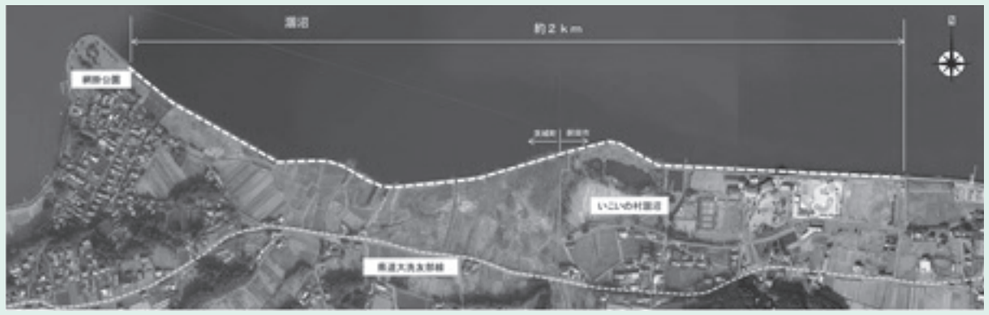
【問合せ先】茨城町教育委員会生涯学習課　ひぬま高校生会担当　☎０２９－２４０－７１２２

網掛公園～いこいの村涸沼
涸沼湖畔の遊歩道完成

茨城県水戸土木事務所では、「網掛公園」から「いこいの村涸沼」までの遊歩道（約２ｋｍ）を整備しました。

遊歩道はアスファルトで舗装してあり、涸沼湖畔をゆったり歩くことができます。

暖かい季節を迎えます。涸沼に憩う鳥たちを眺めながらウォーキングを楽しんでみませんか。



善意のともしび
▼**善意銀行へ**（社会福祉協議会）
タオル20枚＝匿名希望
金10万円＝水戸遊技場組合
タオル100枚＝坂場　道子

JICA「体験談&説明会」

青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの制度や内容について説明会を行います。ボランティアには技術系・医療系・教育系・農業系・スポーツ系など様々な職種があります。みなさんも参加してみませんか。

▼**日時**　4月13日（日）午後2時～4時
▼**会場**　水戸市国際交流センター　多目的ホール（青年・シニアの合同で行います）
▼**参加費**　無料（入退場自由）
▼**申込み**　当日直接会場へお越しください
【問合せ先】JICA青年海外協力隊事務局募集課
☎03（5226）9813

茨城国体マスコットキャラクターデザイン募集！

平成31年に本県で45年ぶりに開催される国民体育大会のマスコットキャラクターのデザインを募集します。

▼**募集内容**　茨城県の特色や、愛称「いきいき茨城ゆめ国体」、スローガン「翔べ　羽ばたけ　そして未来へ」を参考に、明るく、健康的で、子どもから大人まで親しみやすいイメージの作品であること　等。（募集内容の詳細は、茨城国体のホームページ http://www.ibarakikokutai2019.jp/をご覧ください。）
▼**募集締切**　4月18日（金）当日消印有効
▼**応募資格**　どなたでも応募できます。
▼**申込方法**　A4判（縦長）に1枚につき1点をデザインし、郵送または持参。裏面に作品の説明、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業（学校名・学年）を明記してください。また、異なる作品であれば一人何点でも応募できます。
▼**賞金等**　最優秀賞一点20万円、優秀賞三点2万円（入賞者が中学生以下の場合は図書カード）
【問合せ先】県国体推進課
☎029（301）5394

茨城県消費生活センター日曜電話相談受付開始

県消費生活センターでは、平日の午前9時から午後5時まで、専門の相談員が、みなさんの消費生活に関する相談をお受けしています。

4月6日（日）からは、日曜日も電話相談をお受けします。お気軽にご相談ください。

▼**相談時間**　午前9時～午後5時（日曜は電話相談のみ、土曜・祝日・年末年始除く）
▼**場所**　県消費生活センター（水戸合同庁舎内1階）
【相談専用電話】県消費生活センター
☎029（225）6445

「いばらきの教育自慢」はじめました

茨城県教育委員会ＨＰで、茨城の教育の魅力を動画とともに紹介。体力テストが２年連続全国１位の茨城県。「体力トップクラスの秘けつ」をぜひご覧ください！

4月の納税

○固定資産税１期
○国民健康保険税１期（普通徴収分）
○介護保険料１期（普通徴収分）

※納期限は**4月30日**です。

・税金は納期内に納めましょう。
・納税は便利で安全な口座振替をお勧めします。筑波銀行と中央労働金庫でもお取扱いしております。

平成26年度茨城県警察官採用試験（第1回）

茨城県警察では、平成26年10月（男女B）または平成27年4月（男女A）に採用する警察官を募集しています。

○**受験資格**
男性A、女性A
昭和60年4月2日以降に生まれた方で、学校教育法による大学（短期大学を除く）を卒業した方、若しくは平成27年3月31日までに卒業見込みの方または人事委員会がこれと同等と認める方。
男性B、女性B
昭和59年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方で、警察官Aの受験資格（学歴部分）に該当しない方（平成26年10月1日から勤務可能な方に限る）。

○**受付期間**
郵送、持参の場合
4月15日（火）まで（消印有効）
インターネットの場合
4月14日（月）
午後5時（受信有効）

○**試験日**
第1次試験
5月11日（日）
第2次試験
〈一日目〉
6月7日（土）、8日（日）いずれか一日
〈二日目〉
7月16日（水）～23日（水）のいずれか一日（土日祝日除く）

○**採用案内の配布等**
県内各警察署、交番及び駐在所で配布します。
【問合せ先】
水戸警察署またはお近くの交番・駐在所まで
☎029（233）0110

復興庁 Reconstruction Agency

住まいの復興給付金

平成26年4月1日から申請受付を開始します。

制度の概要

東日本大震災により被害が生じた住宅（以下「被災住宅」という。）の被災時の所有者が、引上げ後の消費税率が適用される期間に、新たに住宅を建築・購入し、または被災住宅を補修し、その住宅に居住している場合に、給付を受けることができる制度です。

被災住宅
（東日本大震災により被害が生じた住宅）
り災証明書で「全壊または流出」「大規模半壊」「半壊または床上浸水」「一部損壊または床下浸水※1」の認定を受けた住宅
原子力災害による避難指示区域等※2内にある住宅

新たに住宅を建築・購入 → 建築・購入した住宅（再取得住宅）に居住
被災住宅を所有していた者
被災住宅を補修 → 補修した被災住宅に居住
「再取得住宅」とは、被災住宅に代わり、建築・購入した新築住宅、または宅建業者から購入した中古住宅のこと
給付金受領

※1：建築・購入の場合は被災住宅を取り壊していることが必要。※2：避難指示区域、避難解除区域、特定避難勧奨地点（解除された地点を含む）のことをいう。

■問い合わせ先
住まいの復興給付金事務局
お電話の際は、かけ間違いのないようご注意ください。
コールセンター（受付時間：9:00～17:00／土・日・祝日含む）
TEL. 0570-200-246（有料）
IP電話等からのご利用 TEL. 022-745-0420（有料）
ホームページ
http://fukko-kyufu.jp
制度の内容、申請対象等の詳しい情報は、ホームページやホームページからダウンロードしたリーフレット、申請の手引き等でご確認いただくか、コールセンターまでお問い合わせください。

女性医師就業支援相談窓口のご案内
〈主な相談内容〉
○女性医師等に対する保育に関する相談
○県内の保育サービスの紹介及び病院の子育て支援情報提供
○復職・キャリアアップのための技術研修病院の紹介等
○就業を希望する病院の情報提供
【連絡先】（一社）茨城県医師会
☎　０２９－２４１－７４６７
フリーダイヤル　０１２０－１０７４６７
FAX　０２９－２４１－７４６８
メール i-dr.support@au.wakwak.com

小学生～高校生のための夏休み海外派遣

（公財）国際青少年研修協会では、青少年の夏休み海外派遣10事業の参加者を募集しています。体験を通して、お互いの理解や交流を深め、国際性を養うことが目的です。
▼**内容**　ホームステイ、ボランティア、文化交流、学校体験など
▼**派遣先**　米国、英国、豪州、カナダ、サイパン、シンガポール、フィジー
▼**日程**　７月25日（金）～８月17日（日）の８～18日間（事業により異なる）
▼**対象**　小３～高３の方（事業により異なる）
▼**締切**　６月２日（月）及び９日（月）（事業により異なる）
▼**その他**　５月中に全国14都市で説明会が実施されます（近郊会場では福島県福島市・東京都品川区）。各事業の詳細は資料を請求ください。
【問合せ・資料請求】
公益財団法人　国際青少年研修協会
☎　０３（６４１７）９７２１
FAX ０３（６４１７）９７２４
メール　info@kskk.or.jp
URL　http://www.kskk.or.jp

となりのまちから

笠間市
第43回「笠間つつじまつり」
笠間つつじ公園には、様々な品種約8,500株のつつじが植えられ、最盛期には小高い山一面が真っ赤に染まります。
▼**期　間**　４月19日（土）～５月11日（日）
※開花状況により延長する場合あり。
▼**会　場**　笠間つつじ公園（笠間市笠間６１６－７）
▼**入園料**　大人５００円（高校生以上）
※中学生以下及び障がい者手帳をご提示いただいた方は無料。団体割引（20名以上で１００円引）あり。
【問合せ先】笠間市商工観光課
☎０２９６（７７）１１０１（内線５１７）

ひたちなか市
「磯遊び王国」ひたちなか
ひたちなか市の平磯から磯崎海岸のエリアでは４月から10月の間、海の生き物と触れ合える磯遊びが体験できます。ひたちなか市では、このスポットを「磯遊び王国」と命名し、夏以外でも海辺で楽しめるレジャーとしておすすめしています。
磯で遊んだあとは、日帰り温泉やショッピングモールなど、楽しいスポットがたくさんあります。ぜひお越しください。
【問合せ先】ひたちなか市観光振興課
☎０２９（２７３）０１１１

ちびっこアート　いばらき中央保育園

「ぶらんこあそび」
しばやま　ふうが(5歳)

「楽しかったサッカー」
えびさわ　ゆな(5歳)

「臨時福祉給付金」・「子育て世帯臨時特例給付金」について

消費税引き上げによる、駆け込み需要とその反動、及び低所得者・子育て世帯への影響を緩和するための給付措置です。

臨時福祉給付金

【臨時福祉給金とは？】
平成26年４月から消費税８%へ引き上げられますが、所得の低い方への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給する予定です。
【給付対象者】
○平成26年１月１日において、茨城町の住民基本台帳に登録されている方で、平成26年度分の市町村民税（均等割）が課税されていない方が対象です。
ただし、ご自身を扶養している方が課税される場合や、生活保護制度の被保護者となっている場合は対象外です。
【給付額】
○給付対象者一人につき１万円
○給付対象者の中で次に該当する方は５千円を加算
・老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金等の受給者など
・児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者など
【申請手続】
○申請、支給手続は、現在準備中ですので、具体的な内容が決まり次第、茨城町のホームページや広報等でお知らせする予定です。

【問合せ先】社会福祉　☎０２９－２４０－７１１２

子育て世帯臨時特例給付金

【子育て世帯臨時特例福祉給金とは？】
平成26年４月から消費税８%へ引き上げに際し、子育て世帯の負担の軽くするため、児童手当を受給している世帯に、子育て世帯臨時特例給付金を支給する予定です。
【給付対象者】
○平成26年１月１日において、茨城町で平成26年１月分の児童手当を受給する権利を持っている方です。
ただし、平成25年中の所得が児童手当の所得制限額以上の方や、臨時福祉給付金の対象となっている方、生活保護制度の被保護者となっている場合は対象外です。
【給付額】
○児童一人あたり１万円
【申請手続】
○申請、支給手続は、現在準備中ですので、具体的な内容が決まり次第、茨城町のホームページや広報等でお知らせする予定です。

【問合せ先】こども課　☎０２９－２４０－７１４４

里山に育む生きものたち

24 クロモジ

（クスノキ目　クスノキ科）

学名　Lindera umbellate Thunb.

写真・文／安　昌美

春に花を咲かせる植物では、花で注目される種類も多いですが、花よりもその枝の利用されることで、有名な植物の一つにクロモジ（黒文字）があります。お茶席や和菓子などを食べる時の高級楊枝はクロモジから作られ、「黒文字楊枝」や単に「黒文字」と呼ばれます。

▼クロモジとは

クスノキ科クロモジ属に属する落葉低木で、和名は緑色を帯びた枝の表面に黒い斑紋ができ、それが文字のように見えたことから、黒文字と名前がつけられた説があります。日本固有で、本州・四国・九州の丘陵地から山地下部に生えますが、四国や九州では少ないとされています。茨城県内では主として山地部に見られ、丘陵地ではやや稀です。茨城町では越安と大戸で出会いましたが、町内では稀だと思います。両地点とも落葉樹の疎林で、注意して探したわけではありませんが、1株だけだったと思います。クスノキ科の植物には芳香のあるものが多く、クロモジでは葉や枝を揉んだり、折ったりしますとよい香りがしますので、町内ではクロモジとすぐ分かります。芳香は樹皮の部分に含まれていますので、楊枝は皮付きで作られます。他にクロモジのお茶もおいしい（？）です。

▼クロモジの生活

クロモジは雌雄が別株で、花は4月には開花しますが、一つの花は小さくて、花弁は淡黄緑色です。しかし、集まって咲きますので虫を招くには好都合です。雌花では1個の雌しべと9本の仮雄しべ、雄花では雌しべはなく、9本の雄しべしかありません。茨城町では花や果実のある個体をみていませんので、各個体の雌雄はまだ分かりません。花粉の受け渡しには虫の手助けが必要ですが、近くに仲間の株があれば、容易でしょうが、春先のまだ虫の少ない時期ですから結実も容易なことではなさそうです。果実は秋に黒く熟します。クロモジは春先の冬を越した芽の観察が楽しいです。写真は3月の枝先の状態です。紡錘形の長い芽は葉芽と呼ばれ、葉が広がっていきます。両側の球形の芽は花芽と呼ばれ、中に花が沢山準備されています。このように葉や花になる芽が別々にできる植物にはソメイヨシノ、ツバキ、ハナミズキなど身近なものもありますので注意してみましょう。ニワトコ、ナシなど一つの芽から葉や花が広がってくる芽を混芽と呼びます。

▼クロモジの仲間

クロモジ属はアジアを中心に温帯から亜熱帯に100種ほどが知られ、日本には10種ほどとされています。茨城県内ではヤマコウバシ、ダンコウバイ、アブラチャン、クロモジが記録されています。町内ではダンコウバイにはあっていませんが、他は少ないですが見られます。

編集・発行／茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311−3192　茨城県東茨城郡茨城町小堤1080　TEL029−292−1111　FAX029−292−6748

ホームページアドレス http://www.town.ibaraki.lg.jp/　メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

DATA **茨城町の人口と世帯数** ※カッコ内は前月比です。（住民基本台帳　平成26年2月28日現在）

◆総人口34,031人（−29）男17,024人（−22）女17,007人（−7）◆世帯12,513世帯（−12） DATA

再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています